校 長 室 だ よ り（No.19）

令和４年 10 月 20 日
丹波市立黒井小学校長
谷口　千尋

あのコスモスのように

10 月 18 日（火曜日）の学年発表は、５年生の「書道パフォーマンス」でした。体育館の真ん中で、32 名がチームに分かれて、それぞれの担当する文字や絵を声をかけあい、リズムよく仕上げてくれました。

この書道パフォーマンスは、2008 年に愛媛県立三島高等学校の書道部が音楽に合わせて歌詞を「書のデモンストレーション」として発表したのが始まりです。全国に放送され、評判となり、映画にもなりました。現在は「全国高等学校　書道パフォーマンス選手権大会」として開催されるようになりました。大会は、日本一の紙のまち四国中央市で開催され、「伝統文化としての書の本質を磨きながら新しい書の魅力を探求することによって、新文化の創造発展に寄与する」ことや、「書を通じた芸術文化の地域間交流を促進するとともに、紙産業の振興及び地域の活性化を図る」ことを目標にしています。

あわせて、書道パフォーマンスに励む高校生に、全国的な規模で演技する場を提供することによって、「書」への意欲向上と創造的な人間育成を図るとともに、高校生による高校生のための大会づくりにより、高校生の主体的な活動と相互交流や親善を図ることも目的としています。

大会は、12 人以内でチームを組み、縦 4m、横 6m の紙に６分以内で作品を完成させるのがルールです。文字の美しさや所作、演技構成など以下の８項目で審査されます。

①書の美…書の美しさ、文字表現の美しさ、色彩の美しさ、選択した言葉
②紙面構成…行の流れや紙面全体のバランス、一体感の評価
③用筆の正確さ…用筆の正確さ、運筆の巧みさの評価
④書道の総合…書とパフォーマンスの融合などを総合し、その書・演技により観る人の心を動かした評価
⑤所作の美…書く姿の美しさの評価
⑥演技構成…演技のストーリー性や組み立て、また独創性のほか、チーム全体の一体感の評価
⑦身体表現…表情も含め、パフォーマンス、身体での表現度の評価
⑧パフォーマンスの総合…書とパフォーマンスの融合などを総合し、その書・演技により観る人の心を動かした評価

当日、５年生は、「あき　たくさんの　コスモス　みんなで　成長　いろとりどりに　くろいしょう」の文字と８本のコスモスを描いてくれました。「成長」の文字の力強さと、平仮名の優しさ、コスモスの鮮やかさが印象的でした。また、32 人が息を合わせて取り組む姿に、最高学年を控えた頼もしさも感じました。

２学期に５年生が描いてくれたあのコスモスのように、黒井小のみんなが力強く成長してくれることを願っています。